

# 京都検定 よもやま話

第30回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。  
京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

ありわらの なりひら

## 在原業平の足跡に見る王朝の雅

京都検定の学びを深めると、歴史に翻弄されながらもその名を後世に伝え、その面影をたどることが出来る人物と出会います。その象徴的な一人として紹介するのが、2025年に生誕1200年を迎えた在原業平です。

十輪寺の「なりひら桜」



籍降下した悲運の生涯。しかしその一方で、類まれなる美貌と歌才を兼ね備え、六歌仙・三十六歌仙に名を連ねる平安随一の風流人として名を馳せました。奔放な恋愛遍歴は後世の想像力をかき立て、『源氏物語』光源氏のモデルとも考えられています。また『伊勢物語』の主人公「昔男」も業平と重ねられ、京都には彼の足跡が数多く残されています。まず住まいとして伝わるのが、中京区間之町通御池下ルにあった邸宅跡で、石碑がひっそりと佇み、ビル街の喧騒の中で往時の雅な暮らしを偲ばせます。また吉田山の竹中稲荷神社の奥には業平の墓と伝わる「業平塚」があり、東山を望む風光明媚なこの地を愛した彼の心境に想いを馳せることができます。

晩年を過ごした大原野の十輪寺では、塩を焼く風流を常とし



山村純也  
株式会社らくたび  
代表取締役

ていた業平が、かつての恋人・藤原高子(二条后)が入内後、大原野神社へ礼参に向かうその行列を遠くに望み、塩焼きの紫煙に想いを託したという切ない伝承が残ります。境内には塩竈や供養塔があり、春には「なりひら桜」と呼ばれる見事な枝垂れ桜が参拝者を優しく迎えてくれます。

さらに祇園祭の「鷹山」のご神体は、兄・行平の鷹狩りの様子を題材としたもので、兄弟ともに政治の舞台では苦難を味わいながらも、かえって自由闊達に風雅を愛して生きた姿が、京都の祭礼や伝承の中に息づいています。

業平の足跡をたどり、平安貴族の雅な心に触れる、そんな楽しみ方ができるのも京都ならではの醍醐味ですね。

※「京都・観光文化検定試験」・「京都検定」およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。

2026年度の京都検定  
実施概要・公開テーマが  
決まりました！

### 第28回

試験日 2026年7月12日(日)

〔3級〕10時

会場 京都市内施設

公開テーマ

〔3級〕京都の絵馬

### 第29回

試験日 2026年12月13日(日)

〔3級〕10時

〔2級・1級〕13時30分

会場 京都市内・東京都内施設

公開テーマ

〔3級〕京都の伝統産業

〔2級〕豊臣家と京都

〔1級〕寛永文化・寛永行幸

### 受験料

〔3級〕3850円(団体3080円)

〔2級〕4950円(団体3960円)

〔1級〕7700円(団体6160円)

※団体割引については、1団体で10名以上の受験者を取りまとめてお申し込みいただくことが条件。  
※一般申込については、システム利用手数料550円(税込)が別途必要。